

新入生の皆さんへ 理事長からのメッセージ



理事長 大川 陽康

日本工業大学に入学された諸君、おめでとうございます。一世紀を超える歴史を有し、近代日本の産業黎明期から優れた技術者を輩出してきた本学園の仲間となられたことを、衷心より歓迎いたします。本学園は、工学理論と実践とを相互に行き来しながら高度な技術を修得する学びを根幹に据えています。諸君がこれから学ぶ機械、ものづくりと環境、システム、電気電子、情報、建築、生活環境のデザインは、多様なアプローチの仕方があろう。教科書に記述された普遍的な理論とともに、例えば金属を削り、木材を切るときの手伝う感触、聴

新入生の皆さんへ 学長からのメッセージ



学長 波多野 純

ともに工学を学ぶ仲間として、君たちを心から歓迎します。「君と出会えてよかった」、その思いを大切に、一生のつきあいを始めましょう。今日は、君の人生にとって、とても大切な節目の日です。何を目的に、大学へ進学したのか。日本工業大学で、何を学びたいのか。真剣に考えてみてください。さらに、10年後、20代後半の自分を想像してみてください。年齢にふさわしい、質のよい仕事をしているだろうか。もちろん、転職をしているかも知れない。それでも、君が培ってきた技術力や人間性は、周囲の人を幸せにし、頼りにされているだろうか。

技術を通じ何ができるのか 探究を続けていこう

覚がとらえる音、嗅覚が感じ取る匂いなどの実験は切り離して扱われるべきではなく、表裏一体のものと理解すべきでしょう。普遍的な理論は個々の製品開発、課題解決へと反映され、体験学習や生産現場でその人自身が獲得した知見は工学理論へと抽象化されることにより人類共有の財産となり得るのです。日本工業大学のキャンパスは、これらの学びが教室の中だけでなく、実習施設・実験設備はもとより、動態保存された歴史的な工作機械が並ぶ工業技術博物館、そして実物のSLTとミニSL等々、随所で獲得できます。キャンパスを存分に活用し、楽しんでいただくことを望みます。

一つが技術であり、工学であるといえるでしょう。そうであるからこそ、東日本大震災を機に技術者は、技術のあり方を問い直しながら自らの職責を果たそうという意識が、より強まってきているのではないのでしょうか。言い換えれば、諸君が修めんとする工学とは、社会に、そして日本および地球社会に大きな影響を及ぼし得るものなのです。そのような思いを胸に、自分が技術を通じて何ができるのか、探究を続けていただきたい。そうした姿勢が、自らの人生をより多岐にわたることであります。

これからの4年間、キャンパスの中で、そしてキャンパスの外にも出て産業界の現場や地域の人々と触れあっていくことをお勧めします。多彩な学びの機会をつかみ、エンジニアとしての感性を豊かに育むことができることであります。諸君の健康を祈念いたします。

君と出会えてよかった

大学は、職業人として、生き甲斐を感じ、一生継続できる仕事に巡り会うための学びの場です。将来就きたい仕事は何か。活躍のフィールドは世界か、地元か。私たちは、君たちの未来のために、一人ひとりを大切に、真剣に教育に取り組みます。それが受け継がれて来たのが、学園106年、大学46年の歴史です。君たちがこれから学ぶ「実工学教育」プログラムは、その歴史が築きあげてきたものです。

そこで必要になるのは、コミュニケーションの力です。英語力は欠かせません。卒業生の多くが、「大学時代にもっと英語を勉強しておけばよかった」と話してくれます。英語嫌いやからの脱皮を目指し、さまざまな教育プログラムを用意しています。また、すべての学びの基本は、日本語による理解力であり、構築力です。それを学ぶプログラムも用意しています。積極的にチャレンジしてください。大学院入学の皆さん。皆さんは、新たにスタートするPBL(プロジェクト・ペーパー・ラーニング)型大学院の第1期生です。皆さんのがんばりが、本学の未来を切り拓きます。

専門職大学院だより

ともに技術経営を学ぶ皆さんへ

研究科長・教授 柳澤 章

本年度、日本工業大学専門職大学院(MOT)に学ぶ皆さん、ようこそ神田キャンパスへ。今年も多様な事業分野、専門領域、経験をお持ちの方々をお迎えしています。部門のリーダー、後継経営者、キャリアアップなどと思いはそれぞれでありましても、共通するのは、どんな

れます。そのような変革の担い手が集うのが日本工業大学専門職大学院です。市場環境は、国内はこのところ停滞感から抜け出す兆しが見え始め、海外はつねに変動の中にあるといえます。数々の変動要因に適切に対応しうる技術経営を展開されることを願っています。

また、グループ討議などの場面では、ファシリテーションといった、参加者の意見を引き出し、議論を活性化にし、言いっぱなしに終わらせないための進行の仕方も学びとることができるといえます。

大学院工学研究科 4専攻体制がスタート

平成25年度から本学の大学院工学研究科博士前期課程を4専攻に改組した。

平成21年度、ものづくり環境学科及び生活環境デザイン学科を工学部に新設し、学群という概念を導入して、現在の3学群7学科となり、

な学識および能力を授け、高い専門性と研究能力を有する創造的職業人を養成することを目的としている。

その為、新しい大学院では、本学の理念である「実工学」を深化させる教育として、プロジェクト・ペーパー・ラーニング(PBL)を積極的に取り入れる。たとえば新設の環境共生システム専攻では、生物応用デザインプロジェクト、社会環境デザインプロジェクトをPBL科目として設定する。

なお、旧来の博士前期課程5専攻は、当該専攻に在籍学生が在学する期間は継続する。また、今回の工学研究科の改編では、博士前期課程の学生が修了する2年後に博士後期課程についても改組を予定している。

キャンパス整備 生活環境デザイン学科棟 まもなく竣工

平成24年8月に着工した「生活環境デザイン学科棟新築工事」(鉄骨造2階延床1,303.31平方メートル)は、旧W2棟とは全く趣の違う外壁や開口の広い窓が設置され、全体像が見えて来た。建物の照明はLED100%で省エネ化、空調は効率UPを配慮し、床置き式を採用。竣工は平成25年4月の予定である。



完成が近い新学科棟

の耐震補強・リノベーション工事も進行中である。アリーナの耐震ブレースや非構造部材(天井・照明器具等)の落下防止、また、増築部であるトレーニング棟(214平方メートル)の鉄骨建方工事を行っている。さらに健康管理センターの増床(146平方メートル)とバリアフリー化も行い、学生の緊急時に配慮。完工は平成25年7月予定。

他に、体育館(W21棟)

新入生へ贈る言葉

教務部長からのメッセージ

新入生の皆さん、これから4年間、皆さんと時間を共にできることを心から嬉しく思います。

教務部というところは、主に皆さんの成績管理などを行い、大学での「学び」をサポートする部署です。大学での「学び」について、まず皆さんに伝えたいことは、これまでの高校までの学習のイメージから一日も早く脱却し、大学の学習スタイルを身に付けてほしいということです。

皆さんは「勉強」という言葉から何を連想しますか。試験前に必死に暗記した悪夢が甦りまじか。試験の前に覚えた「ことは、試験が終わるとすぐに「忘れて」しまします。でも、自分で理解したことは努力しなくても決して忘れることはありません。「勉強は暗記ではない」そのことと早く気づいてもらいたい、それが私からのメッセージです。

皆さんが大学を卒業して社会に出たときに求められるのは、「自ら学ぶことができる」ということです。アカデミック・ライティングと呼ばれる、このような文章能力のスキルを身に付けることは、専門科目の理解度を深めることにもつながります。是非とも積極的に取り組んでくださるようお願いいたします。



論理的思考力を身に付けよう

教務部長・教授 成田 健一

皆さんは「勉強」という言葉から何を連想しますか。試験前に必死に暗記した悪夢が甦りまじか。試験の前に覚えた「ことは、試験が終わるとすぐに「忘れて」しまします。でも、自分で理解したことは努力しなくても決して忘れることはありません。「勉強は暗記ではない」そのことと早く気づいてもらいたい、それが私からのメッセージです。

皆さんが大学を卒業して社会に出たときに求められるのは、「自ら学ぶことができる」ということです。アカデミック・ライティングと呼ばれる、このような文章能力のスキルを身に付けることは、専門科目の理解度を深めることにもつながります。是非とも積極的に取り組んでくださるようお願いいたします。

学科主任からのメッセージ

ご入学おめでとうございます。少子高齢化社会を迎え、ものづくり業界では、技術者の卵である皆さんへの期待が高まっています。そこで、皆さんに大学生活でぜひ学んで欲しいことについてお話しします。



大学生活で学ぶこと

機械工学科主任・教授 村田 泰彦

まず、「コミュニケーション能力を養って下さい。これは、対話能力だけに留まらず、文章作成能力、外国語能力、作図能力など広範囲にわたります。自己研鑽に励み、大学生活を充実させるために、モチベーションを上げて下さい。



環境と人と「ものづくり」

ものづくり環境学科主任・教授 小野 雄策

ご入学おめでとうございます。入学にあたり新しい気持ちで、当学科のポリシーを考えてみてください。

人は自然から資源やエネルギーを取り出し物を作りだし利用してきました。これは有史以前と少しも変わらない作業です。変わったとしたら、人が自然のサイクルを乗り越えて資源やエネルギーを使い果たそうとしていることでしょうか？いや、まだ資源やエネルギーは豊富に忘れずに！

ご入学おめでとうございます。入学にあたり新しい気持ちで、当学科のポリシーを考えてみてください。

人は自然から資源やエネルギーを取り出し物を作りだし利用してきました。これは有史以前と少しも変わらない作業です。変わったとしたら、人が自然のサイクルを乗り越えて資源やエネルギーを使い果たそうとしていることでしょうか？いや、まだ資源やエネルギーは豊富に忘れずに！



創造システム工学科によるこそ

創造システム工学科主任・教授 吉澤 信幸

本学科は誕生から5年目を迎えて、今年度から新しいカリキュラムを用意しました。ロボット創造コースとマイクロ・ナノ創造コースの2つからなる基本構成は従来どおりですが、内容面で次の大きな変更を行いました。

本学科は誕生から5年目を迎えて、今年度から新しいカリキュラムを用意しました。ロボット創造コースとマイクロ・ナノ創造コースの2つからなる基本構成は従来どおりですが、内容面で次の大きな変更を行いました。



人間力を身につけよう

電気電子工学科主任・教授 石川 豊

入学おめでとう。高校時代の思いを忘れずに、貴重な4年間を過ごして下さい。

電気電子工学は応用分野が広く、卒業後活躍できる場はたくさんあります。当学科では、どんな分野に進んでも対応できるように、基礎はもちろん、エレクトロニクス、エネルギー、情報通信等の最新技術まで身につけることができるようにカリキュラムを構成し、教育を進めています。また、若くフレッシュな教員が多く、君たちと同じ目線で親切な教育を心がけます。電気電子工学科の教員一同、全力で君たちの学びをサポートします。

入学おめでとう。高校時代の思いを忘れずに、貴重な4年間を過ごして下さい。

電気電子工学は応用分野が広く、卒業後活躍できる場はたくさんあります。当学科では、どんな分野に進んでも対応できるように、基礎はもちろん、エレクトロニクス、エネルギー、情報通信等の最新技術まで身につけることができるようにカリキュラムを構成し、教育を進めています。また、若くフレッシュな教員が多く、君たちと同じ目線で親切な教育を心がけます。電気電子工学科の教員一同、全力で君たちの学びをサポートします。



悔いの無いカレッジライフを!

情報工学科主任・教授 正道寺 勉

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。情報工学科は、皆さんの入学を心より歓迎致します。

情報工学科では、今年度から新しいカリキュラムがスタートします。皆さんに問題解決のプロセスを身につけてほしいです。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。情報工学科は、皆さんの入学を心より歓迎致します。

情報工学科では、今年度から新しいカリキュラムがスタートします。皆さんに問題解決のプロセスを身につけてほしいです。



建築に何が出来るか?

建築学科主任・教授 小川 次郎

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。建築に何をしたいのか、という問いは、入学した瞬間から始まる大きな夢を抱えている人、様々な人がいると思います。最初から上手にいくとは限りませんが、

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。建築に何をしたいのか、という問いは、入学した瞬間から始まる大きな夢を抱えている人、様々な人がいると思います。最初から上手にいくとは限りませんが、



身近な空間を見つめよう

生活環境デザイン学科主任・教授 川村 清志

この学科には住空間と福祉空間の二つのデザインコースがあり、身の回りの空間を豊かに快適にするため、答えが見つかることを期待します。そのための授業料

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。あなたはこの学科で何を学ぼうとして入学しましたか。インテリアデザインについてもっと深く考えたい、介護や福祉について勉強したい...。様々な



前進あるのみ

共通教育系主任・教授 城戸 卓男

新入生諸君、入学おめでとう。やる気満々で、胸をふくらませていることと思います。生き生きとした学生生活を送られることを期待しております。学生時代の四年間は人生のうちで一番自由に、また

新入生諸君、入学おめでとう。やる気満々で、胸をふくらませていることと思います。生き生きとした学生生活を送られることを期待しております。学生時代の四年間は人生のうちで一番自由に、また

学生支援部長からのメッセージ

私たちがマスコミ等でよく目にする会社社長、政治家、作家のほとんどが学生時代の思い出を語り、一学期の勉強以外で教師や友人と深く触れ合った学生生活が人生の財産になっている。という意味のことを述べています。言い換えると、青春時代の勉強と友人との触れ合いの相乗効果によって、社会人として生きていくための人格形成がなされるということなのです。皆さんにとっては日本工業大学がその場です。

大学生活を楽しむ自分を磨こう

学生支援部長・教授 竹内 貞雄

君がエンジニアとして社会で活躍するために必要な授業は十分に用意してあります。しかし、授業で得た知識だけではどうにもなりません。他人と協調して仕事を進める能力が必要です。もっと具体的に言えば、相手の要望を聞き、それに応えられる製品やシステムを提案し説得出来るスキルが必要で、このよ...

また、疑問や不安に思うことがあっても、他人の前では質問しにくいことがあるかもしれません。そのような場合には、学科によって設置されている個別相談の場を利用する、担当の先生に直接相談するなどして、一つ一つ解決していきましょう。



Table with 2 columns: Date (4月1日-5日) and Main Activities (Orientation, Registration, etc.)

まずは、オリエンテーションをよく聞こう。入学当初は、いろいろなオリエンテーションが行われ、皆さんが大学生活に速やかに適応できるように、各担当部署から説明が行われます。例えば、教務部からは履修方法や単位取得などに関する説明、学修支援センターからは施設の使用方法、学生支援課からは学生生活全般の心構えのほか、女子学生や留学生といった対象者別の説明も行います(下表参照)。その内容はさまざまですが、全て皆さんに必要な情報だと考えてください。

授業のスタートはフレッシュマンセミナーから。オリエンテーションが終わり、いよいよ授業が始まります。その第一歩が「フレッシュマンセミナー」です。このセミナーは各学科を20人前後の少人数クラスに分けて行われ、各クラスには担当の教員が配置されます。1年生の春学期は、全ての学科で必修科目となっており、単位取得が可能です。その内容は、大きく2つに分けられます。1つは大学での学び方を身につけること、もう1つは各学科の専門分野について理解することです。

履修申告の方法について。大学では、自分で学びたい科目を選択し、履修申告を行ったうえで受講します。しかし、科目名や説明文だけで受講を判断するのは難しいかもしれません。そこで、授業開始日から10日ほどの間は、試験の内容を体験することが出来ます。その内容に納得すれば履修申告し、正式に受講することになります。申告までの過程で疑問に思うことがあったら、フレッシュマンセミナーの担任の先生に相談してみてください。皆さん一人ひとりの興味や進路希望などに合わせて、適切にアドバイスを残した先輩もいます。

研究室へも自ら進んで訪問。研究室に正式に所属するのは3年次、学科によっては4年次になってからですが、オープンキャンパスに参加した時に興味をもった研究室があれば訪問して先輩から話を聞いてみてはいかがでしょう。1年次から研究に取り組み、立派な成果を残した先輩もいます。

新入生の皆さんは、大学生活を始めるにあたって、期待と同時に不安も抱えていることでしょう。そこで、皆さんがスタートから快適な大学生活を送ることができるよう、心構えや行動の仕方についてまとめました。

大学生活は人間関係づくりの場。大学生活という新しい環境を楽しく過ごすためには、人間関係づくりがとても大切です。新しい友達をつくり、先輩とも親しくなるために、クラブ活動や学生自治会等に積極的に参加してみてください。

履修申告の方法について。大学では、自分で学びたい科目を選択し、履修申告を行ったうえで受講します。しかし、科目名や説明文だけで受講を判断するのは難しいかもしれません。そこで、授業開始日から10日ほどの間は、試験の内容を体験することが出来ます。その内容に納得すれば履修申告し、正式に受講することになります。申告までの過程で疑問に思うことがあったら、フレッシュマンセミナーの担任の先生に相談してみてください。皆さん一人ひとりの興味や進路希望などに合わせて、適切にアドバイスを残した先輩もいます。

研究室へも自ら進んで訪問。研究室に正式に所属するのは3年次、学科によっては4年次になってからですが、オープンキャンパスに参加した時に興味をもった研究室があれば訪問して先輩から話を聞いてみてはいかがでしょう。1年次から研究に取り組み、立派な成果を残した先輩もいます。

日本工業大学での学び方 自ら考え、行動し、充実した大学生活を送ろう！

私たちが、皆さんの大学生活をサポートします！

Grid of support services including: 学生相談室 (Student Counseling), 学修支援センター (Academic Support Center), 学生支援課 (Student Support Office), 教務課 (Academic Affairs), 就職支援課 (Career Support), LCセンター (LC Center), スチューデントラボ (Student Lab), 健康管理センター (Health Management Center), NITクリエイト (NIT Create), 財務課 (Finance), 総務課 (General Affairs), 英語教育センター (English Education Center).

日本工業大学学業奨励奨学金受給者 (新)2年生・3年生・4年生

平成24年度の日本工業大学学業奨励奨学生が決定した。本奨学金は、平成17年度入学生から適用されているもので、エクセレント(E S)とリマーカーブル(R S)に区分され、学科、学年ごとに年間を通じて学業成績・人

物ともに優秀な学生が選考される。E Sには50万円、R Sには20万円の奨学金が給付され、学費に充当される。7年目となる本年度は、新2・3・4年生、計111名が採用された。尚、採用者は以下の通りである。

エクセレント スチューデント

学科	学年		
	2年生	3年生	4年生
機械システム学群	氏名(出身校)	氏名(出身校)	氏名(出身校)
	遠山史也(和光国際)	金田匡平(弘前工業)	小山寛人(足立学園)
	伊藤満(寒河江工業)	飯塚卓也(宇都宮短期大学付属)	井橋拓海(熊谷)
	荒井俊一(鷲宮)	渡邊健介(深谷第一)	日暮紘平(流山南)
	宮田和也(下館工業)	眞生田集也(栃木翔南)	小暮裕太(熊谷工業)
電子情報メディア学群	氏名(出身校)	氏名(出身校)	氏名(出身校)
	小林亮介(高松西)	寺内大樹(館林)	長尾巧(西武台千葉)
	横山駿也(前橋南)	木之下道政(大宮)	並木俊一(春日部工業)
	中澤秀斗(上田千曲)	小林雄太(下館工業)	SAUROV SOLFAY SALEHEEN(長岡工業高等専門学校)
	井田守昭(伊勢崎工業)	工藤貴大(越谷総合技術)	松浦翼(幸手)
建築デザイン学群	氏名(出身校)	氏名(出身校)	氏名(出身校)
	織田晃治(越谷西)	勅使川原地大(高崎商科大学付属)	小林貴真(熊谷工業)
	中島将太(春日部工業)	山口太輝輝(つくば工科)	望月勝(駿台甲府)
	須部広輝(浜名)	田端由香(熊谷工業)	並木淳史(春日部工業)
	中川哲(科学技術)	及川典子(鹿島)	橋本温子(郡山)

リマーカーブル スチューデント

学科	学年		
	2年生	3年生	4年生
機械システム学群	氏名(出身校)	氏名(出身校)	氏名(出身校)
	石田隼人(岩村田)	河口大介(佐野日大)	塚越恒平(久喜工業)
	金子竜也(東工大付属)	内海佑太(足利)	横山貴之(春日部東)
	滝原正貴(日立工業)	樋口輝和(田島)	内田俊輔(水戸桜ノ牧)
	稲毛基大(川越工業)	倉林佑輔(伊勢崎清明)	龍野貴枝(下館工業)
	原浩介(柏中央)	糸戸佑次(伊貝)	原口卓也(埼玉平成)
	宮澤和貴(長野工業)	矢嶋上新(上海市民)	島田裕太(栃木工業)
	齊田利継(蔵前工業)	東翔平(作新学院)	林俊行(飯田工業)
	鶴見亮太(Sidney High School)	小堀恭介(作新学院)	小野寺龍(大船渡東)
	茂木亮佑(桐生工業)	小菅達也(太田東)	結城翼(高崎工業)
電子情報メディア学群	氏名(出身校)	氏名(出身校)	氏名(出身校)
	小島広樹(桐生工業)	新藤敬人(拓殖大学第一)	門馬悠介(クラーク記念国際)
	小池聖人(秩父農工科学)	船波章吾(八戸工業)	下間秀(今市工業)
	櫻井貴夫(秩父農工科学)	渡邊恭弥(宇都宮白陽)	森野善明(修善寺工業)
	桑原裕人(前橋工業)	小野田翔(飯田工業)	富田翔矢(秩父農工科学)
	佐藤佐輝(横手清陵学院)	門叶直樹(羽生第一)	鈴木健太(朝霞西)
	窪塚茂章(新座総合技術)	平井一輝(羽生第一)	佐竹裕斗(日本工大駒場)
	野澤仁(宇都宮南)	横澤和季(寒河江工業)	杉田圭佑(佐野松陽)
	清水翔太(熊谷西)	飯島隆文(三郷工業技術)	高久宗亮(鹿沼)
	高橋匡平(浦和北)	海老澤怜己(勝田工業)	柿沼智志(久喜工業)
建築デザイン学群	氏名(出身校)	氏名(出身校)	氏名(出身校)
	森智昭(浦和学院)	三枝峻(羽生第一)	大塚雅広(作新学院)
	大野木友子(杉戸)	浅利幸史(盛岡工業)	石岡志保里(弘前工業)
	街道雄紀(伊奈学園総合)	狐塚桃希(宇都宮工業)	伊藤篤(下館第二)
	小出真依(東工大付属科学技術)	添田晶大(熊谷工業)	折野大河(松伏)
	田口梓(大宮)	平田未来(新潟工業)	石井裕大(水戸工業)
	前園麗奈(春日部女子)	森本清史(太田東)	田中玲次(四日市工業)
	永澤純佳(大阪市立)	暹澤雄樹(新庄神室産業)	長山明日香(足利工業)

自らの選択と行動で可能性は広がる

中央執行委員会委員長・電気電子工学科4年 (日本工業大学駒場高等学校出身) **高麗 達也**

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。学生自治会を代表し、心よりお祝い申し上げます。皆さんは今、将来への希望に胸を膨らませ、目標実現のために、これからの大学生活を送られると思います。あるいは、かつての私のように、入学時の今は将来への明確な目標が定かではないものの、多くの人々と出会い、様々な学問に触れることを期待している方もおられると思います。さて、これからの大学生

活は、自らの行動と選択により大きな可能性を切り開くことができます。学問の面では、自分が興味を持ったことを納得のいくまで研究できる、教職員の皆様方による力強いサポートがあります。学生自治会(委員会・部活動・サークル)活動において、それぞれ一人ひとりの個性や能力が必要とされ、個々の力を存分に発揮することができま。そして、留学制度や資格取得、就職活動支援やボランティア活動など、社会で活躍できる場も用意されており、例え現状用意されていなくても自ら取り組めば、教職員の方々や我々学生自治会の仲間が、必ずや相談に乗ってくださると思います。

これからの全ては、まさに自分自身の選択次第です。本学には皆さんが輝くための可能性が無数にあります。そしてそれは、自ら望んだ者こそより多く与えられるものなのです。大学生活で何か一つでも、心に残る何かを見つけてください。きっと自らの世界や可能性を広げられるはず。最後に、学生自治会を通して、夢を語り合えるような友人もたくさんできるでしょう。皆さんが本学において様々なことを感じ、多くのことを学び、有意義な大学生活となることを切に願ひ、歓迎の言葉といたします。

エコ大学ランキング上位6大学が参加

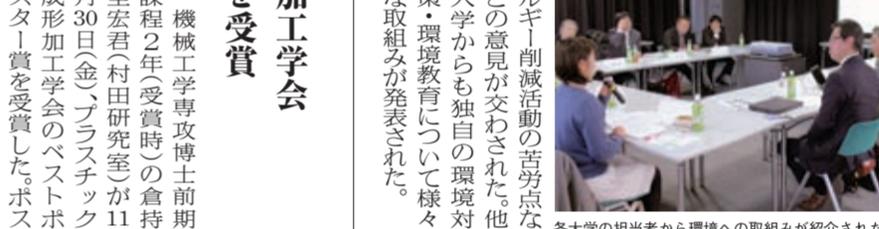
エコ大学円卓会議で取組みを紹介

2月23日(土)、早稲田大学にてエコ大学円卓会議「学内での環境対策と環境教育の今までとこれから」を題材にミニ・シンポジウムが行われた。これはNPO法人エコリーグの主催により行われたもので、本学からは共通教育系(環境教育検討部会長)の佐藤彰弥准教授、施設環境管理課の原渡課長が参加した。他の参加校は、三重大学、岩手大学、フェリス学院大学、早稲田大学、東京大学とエコ大学ランキングで上位入賞の6校や千葉大学の一般学生などである。

プラスチック成形加工学会

ベストポスター賞を受賞

機械工学専攻博士前期課程2年(受賞時)の倉持全宏君(村田研究室)が11月30日(金)、プラスチック成形加工学会のベストポスター賞を受賞した。ポスターのわかりやすさ、説明態度、質問への対応といったプレゼンテーション能力が高く評価された。発表した論文テーマは「遠赤外線ヒータを用いた加熱・冷却金型による射出成形品特性の向上」。製品の外観品質向上のため、遠赤外線ヒータを利用したプ



各大学の担当者から環境への取組みが紹介された

EMS 環境推進協議会開催

1月18日(金)、情報工学科実験研究棟5階会議室でEMS推進協議会が開催された。大学からは柳澤副理事長や波多野学長をはじめとする環境活動推進の中心となっている教職員20名、学生側は学生環境推進委員会の委員ら37名が出席した。この協議会は、大学と学生双方の環境推進担当者が一体となって情報交換を図るために毎年実施されており、今回で9回目となる。双方からの年間環境活動報告発表後には活発な意見が交わされた。



活動報告を行う学生環境推進委員長

工学部院基礎理工学部機械科学航空学助教授
◆秋元俊成助教授(創造システム工学科)昭和55年6月26日生まれ。平成20年3月東洋大学大学院工学研究科機械システム専攻博士後期課程修了。博士(工学)。前東洋大学理工学部助教授。
◆菊田貴恒助教授(建築学)昭和57年10月8日生まれ。平成22年3月東洋大学大学院工学研究科都市・建築学専攻博士後期課程修了。博士(工学)。前東洋大学大学院工学研究科都市・建築学専攻助教授。
◆山田秀美准教授(情報工学科)↓教授に昇任
◆江藤香助教授(情報工学科)↓教授に昇任
◆松田洋助教授(情報工学科)↓教授に昇任
◆梅谷篤史講師(共通教育)↓准教授に昇任

町の自然を感じる場所

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの門出を祝うかのうちに、町内の4000本の桜も見ごろを迎えています。この時期のおすめは、日本工業大学の南西を通っている『水と緑のふれあいロード』。

編集後記

▼新入生の皆さん、御入学おめでとう。これからの学校生活を充実した日々にしていただきたい。▼ところで皆さんは、アップル創業者のスティブ・ジョブズ(故人)の名はご記憶だろうか？彼は生前『ベストを尽くして失敗したら、ベストを尽くして失敗したら、ベストを尽くして失敗したら』と口癖のように語っていたそうだ。中途半端に努力するのではなく、まさに死力を尽くして事に当たるならば、たとえ失敗しても悔いはない、という意味だろうか。▼前を向いてもがきあがき苦しむ体験は、必ず皆さんの生きる力になるはずだ。すぐに結果が出なくても焦る必要などない。大学生活はそれを実感する期間かも知れない。だからこそ、何となくあれ、皆さんの前に存在する壁を乗り越える意志を持って欲しい。▼サッカー日本女子代表の監督・佐々木則夫氏(ロンドン五輪銀メダル獲得)も「成功の反対は失敗ではなく、『やらないこと』だ」と話している。▼実業界としてスポーツ界と活躍した分野は違いますが、どちらも「失敗」をチャンスと捉えている点が興味深い。【信

人事異動

【任用】(4月1日付)
◆佐々木勉教授(専門職大学院)昭和26年12月25日生まれ。昭和53年3月東京大学文学部哲学科専攻課程卒業。現(株)ウイジョン開発研究所取締役主任研究員。
◆浪江一公教授(専門職大学院)昭和31年12月3日生まれ。昭和54年3月北海道大学工学部機械工学第二学科卒業。現(株)ウイジョン開発研究所(株)代表取締役社長。
◆西尾好司教授(専門職大学院)昭和39年10月4日生まれ。平成20年3月東北大学大学院工学研究科技術社会システム専攻博士後期課程修了。博士(工学)。現(株)富士通総研経済研究所主任研究員。
◆雨宮隆教授(ものづくり環境学)昭和28年9月10日生まれ。平成22年9月東京大学大学院新領域創成科学研究科博士後期課程環境システム専攻修了。博士(環境学)。前(株)テルム技術企画部長、技術統括責任者兼環境

推進責任者。
◆安原鏡幸准教授(ものづくり環境学)昭和44年5月14日生まれ。平成7年3月東京工業大学大学院理工学研究科機械工学専攻修士課程修了。博士(工学)。前東京工業大学大学院理工学研究科助教授。
◆武藤剛准教授(情報工学科)昭和47年10月1日生まれ。平成16年3月東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム工学専攻博士後期課程修了。博士(工学)。前青山学院大学理工学部情報テクノロジ学助教授。
◆中村一博准教授(情報工学科)昭和49年5月5日生まれ。平成13年3月奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。前名古屋大学大学院情報科学研究科附属組込みシステム研究センター助教。
◆石川貴一朗助教(機械工学科)昭和55年12月2日生まれ。平成22年2月早稲田大学理工学部機械工学専攻博士後期課程修了。博士(工学)。前早稲田大学

理学部院基礎理工学部機械科学航空学助教授
◆秋元俊成助教授(創造システム工学科)昭和55年6月26日生まれ。平成20年3月東洋大学大学院工学研究科機械システム専攻博士後期課程修了。博士(工学)。前東洋大学理工学部助教授。
◆菊田貴恒助教授(建築学)昭和57年10月8日生まれ。平成22年3月東洋大学大学院工学研究科都市・建築学専攻博士後期課程修了。博士(工学)。前東洋大学大学院工学研究科都市・建築学専攻助教授。
◆山田秀美准教授(情報工学科)↓教授に昇任
◆江藤香助教授(情報工学科)↓教授に昇任
◆松田洋助教授(情報工学科)↓教授に昇任
◆梅谷篤史講師(共通教育)↓准教授に昇任

3年次・大学院1年次 保護者対象 **6/15(土)**

4年次・大学院2年次 保護者対象 **10/26(土)**

日本工業大学学友会館 **入場無料**

詳細はWEBサイトで

保護者のための就職ガイダンス

▼新入生の皆さん、御入学おめでとう。これからの学校生活を充実した日々にしていただきたい。▼ところで皆さんは、アップル創業者のスティブ・ジョブズ(故人)の名はご記憶だろうか？彼は生前『ベストを尽くして失敗したら、ベストを尽くして失敗したら、ベストを尽くして失敗したら』と口癖のように語っていたそうだ。中途半端に努力するのではなく、まさに死力を尽くして事に当たるならば、たとえ失敗しても悔いはない、という意味だろうか。▼前を向いてもがきあがき苦しむ体験は、必ず皆さんの生きる力になるはずだ。すぐに結果が出なくても焦る必要などない。大学生活はそれを実感する期間かも知れない。だからこそ、何となくあれ、皆さんの前に存在する壁を乗り越える意志を持って欲しい。▼サッカー日本女子代表の監督・佐々木則夫氏(ロンドン五輪銀メダル獲得)も「成功の反対は失敗ではなく、『やらないこと』だ」と話している。▼実業界としてスポーツ界と活躍した分野は違いますが、どちらも「失敗」をチャンスと捉えている点が興味深い。【信

環境配慮の観点から再生紙を使用しております。